

# 「平和教養講座」のご案内

10月19日(土)

企画展関連

「ソロモン諸島の人びとにとっての太平洋戦争  
—現地住民の戦争体験を中心に—」

講師:藤井真一氏

国立民族学博物館超域  
フィールド科学研究部 助教

ソロモン諸島は、日米両軍が軍事衝突した最前線として知られています。海外からもたらされた戦争に巻き込まれ、自分たちが生まれ育った場所を戦場にされたソロモン諸島の人びとの戦争体験を中心に、彼らの目から見た太平洋戦争について紹介します。

11月16日(土)

企画展関連

「太平洋戦争の影—フィジーの砲台から  
国立民族学博物館所蔵のパプアニューギニア資料まで—」

講師:丹羽典生氏

国立民族学博物館  
グローバル現象研究部 教授

太平洋地域で調査をしていると、そこかしこで太平洋戦争の影響と出会います。本講座では、フィジーでの現地調査中に会った戦跡や戦争体験の証言、国立民族学博物館の収蔵資料調査を通じて見えてきた太平洋戦争と日本人のかかわりについて紹介します。

12月21日(土)

企画展関連

「写真・証言・絵本からひも解く  
サイパンの戦争記憶—チャモロと沖縄の人びとの経験に着目して—」

講師:森 亜紀子氏

同志社大学<奄美-沖縄-  
琉球>研究センター 研究員

日本軍「玉砕の島」としてよく知られるサイパン島。当時そこには、先住民チャモロはもちろんのこと、沖縄、八丈島、東北、奄美、朝鮮などから移民した労働者の家族が多数暮らしていました。本講座では、写真・証言・絵本を手がかりに、「玉砕の島」という名付けによって見えづらくなっていったチャモロ・沖縄の人びとの戦争記憶をひも解きます。

1月18日(土)

地域交流室展示関連

「義肢の歴史 川村義肢歴史展示室の資料紹介」

講師:剣持 悟氏

川村義肢株式会社

戦争によって手や足を失った方のために、用途に合わせた義肢が作られました。川村義肢歴史展示室の資料をとおして、義肢の歴史や特徴を紹介します。また、製作の現場から、戦争当時の義肢の工夫や現在使用されるスポーツ用や動物用の義肢の取組について紹介します。

2月15日(土)

地域交流室展示関連

「大阪コリアタウンの誕生と変遷—戦前から現在まで—」

講師:高 正子氏

大阪コリアタウン歴史  
資料館 館長

1930年代、朝鮮半島から渡ってきた人たちの集住地であった大阪市生野区には、かれらの生活を維持するための「朝鮮市場」が作られました。戦争が進むなかで地域の商店街、朝鮮市場も閉鎖され、戦後は「大阪コリアタウン」として観光地になりました。この「大阪コリアタウン」の変遷について紹介します。

受付開始 当日13:00 講義時間 13:30~15:30 参加無料 定員80名

## 受講方法

- 本講座は先着順です。  
講義当日にお越しいただいた先着80名の方が受講できます。なお、定員を超えた場合は、受講できないことがあります。
- 会場:当館2階研修室
- 講師から了解のあった講座は、後日YouTubeで公開します。

予約  
不要

## 滋賀県平和祈念館

〒527-0157 東近江市下中野町431番地

FAX: 0749-46-0350

Mail: heiwa@pref.shiga.lg.jp

TEL: 0749-46-0300

